地域活性化特別枠

ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト(2021年～2025年)

環境教育「京都モデル」をASEANに！

■ **実施団体：**
公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
（提案自治体：京都市）

■ **対象国・地域：**
マレーシア国ジョホール州
ジョホールバル市

■ **現地カウンターパート：**
ジョホールバル市、イスカンダル地域開発庁、ジョホール州教育局

■ **協力内容：**
ジョホールバル市に2023年1月に新設された環境学習拠点『Sudut Lestari』が、同市を中心にイスカンダル開発地域及びジョホール州において、低炭素社会実現に向けた環境教育・環境保全活動のための拠点として自律的に機能できるようになる。

■ **団体のこれまでの取り組み：**
2013年5月　イスカンダル開発地域における「マレーシア版こどもエコライフチャレンジ」(京都市立小学校で実施されている環境教育プログラム)の導入・展開
2016年2月　草の根技術協力事業「低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくりプロジェクト」(～2018年12月)

■ **事業実施の背景：**
先行プロジェクトでは、学校等の教育機関を中心に教育や啓発を継続的に行っていく体制の確立に至った。しかし、学校やコミュニティの取組を広範にさらに高めていくため、環境教育・環境活動に特化した中間支援や人材育成を行う拠点の整備が必要となった。

マレーシア国の課題と成果

課題①　**広く環境教育・活動を進めるための情報発信を行う拠点が未整備**
課題②　**環境教育・活動に特化した中間支援や人材育成の機能が未整備**

成果①
・2023年2月、ジョホールバル市にあるスルタンイスマイル図書館内に環境学習拠点となる「Sudut Lestari」（サステナブルコーナー、以下、新拠点）」がオープン！

成果②
・新拠点で実務を担う職員17名を育成し、それらの職員により、展示開発、プログラム開発および実施、環境人材育成などが継続的に行われている。
・来館後、約2年で、環境ボランティア76名が育成され、約150の学校を含む合計約2万人の市民が来館した。

事業の波及効果

マレーシアでの取組を日本へ還元！
さらにASEAN地域へ拡大が期待！

- マレーシアの新拠点で実施された、企業との連携による展示開発やリサイクル活動、ボランティアマネジメントなどの新たなノウハウを、京エコロジーセンターが取り入れ、改善を図っている。
- マレーシア国ジョホールバル市で開発された低炭素社会実現に向けた環境教育・環境保全活動の「京都モデル」が、マレーシア国内はもとより、東南アジアの他自治体においても拡大している。